

第3回テレワーク推進部会 会議結果

1 日時及び場所

- (1) 日 時 令和2(2020)年12月3日(木)10時00分～11時40分
- (2) 場 所 栃木県庁昭和館多目的室4

2 出席者

[構成員]

栃木県、宇都宮市(栃木県市長会)、茂木町(栃木県町村会)、栃木労働局、
日本労働組合総連合会栃木県連合会、(公社)栃木県経済同友会、
(一社)栃木県商工会議所連合会

[オブザーバー]

関東経済産業局、(株)足利銀行、(株)栃木銀行、(一社)とちぎニュービジネス協議会、
(株)NTT東日本栃木支店、日光市、藤和那須リゾート(株)、那須町、那珂川町

3 議事等

- (1) 議事「テーマ：ワーケーションの現状等について」
 - ア ワケーションの現状【資料1・2、参考資料】
県労働政策課から「ワーケーションの現状」について説明
 - イ 栃木県の取組【資料3】
県観光交流課から「スマートワーケーション推進事業」について説明
- (2) 議事「テーマ：ワーケーションの事例について」
 - ア 日光市・NTT東日本栃木支店の取組【資料4-1・4-2】
日光市及びNTT東日本栃木支店から「日光市・NTT東日本栃木支店によるワーケーションへの取り組み」について説明
 - イ ナスコンバレー構想【資料5】
藤和那須リゾート株式会社から「ナスコンバレー構想」について説明
 - ウ 市町の取組【資料6～7】
 - 那須町から「サテライトオフィスの誘致」について説明
 - 那珂川町から「那珂川町におけるワーケーションの取り組み」について説明
- (3) 質疑応答・意見交換
 - ◎部会で出された主な意見
 - ①ワーケーションでより長く滞在してもらう場合、費用負担の課題が生じる。その解決策の一つに、滞在中に副業ができるという環境を整えることが効果的である。
 - ②ワーケーションでは、様々な交流から新しいビジネスが生まれ、栃木県を発信できるというメリットがある。
 - ③子どもを含む家族連れのワーケーションを行う際のフォローを制度化する必要がある。
 - ④県としてワーケーションを通じた地域活性化に繋げるシナリオが作れたらいい。
 - ⑤実際にワーケーションを行ってみて、内勤事務は電話を取らなくて済むので仕事に集中できたとの声があり、仕事の傍ら行ったアクティビティではチームワークも生まれた。
 - ⑥ワーケーションは東京の企業がメインかもしれないが、「ナスコンバレー構想」で様々な方が集まるのであれば、地域活性化に向けて、地元の企業も含めて盛り上げていきたい。
- (4) その他
県労働政策課から今後の部会の協議テーマ及び進め方について説明【資料8】